

★2012年 3月30日(金) 31日(土) つくば市ふれあいプラザ
～ライアー講座 “ひびき” シリーズ No. 13～
田原真樹子さんの『響きを聴き、奏でるVI』に参加して

田原さんの講座は、いつも楽しく、いろいろな体験ができるのが魅力です。

ライアーの音の空間を、オイリュトミーで動くと、いつもと違ってより深い空間を感じる事が出来るからです。

ライアーも、オイリュトミーもその音が始まる前から、もうすでに彼方から近くまでやってきているということは知識として「知っています」けれど、それを体験をもって感じることはなかなか難しいことですが、くり返し練習する中でゆっくりと自分の感覚の中に流れ込んできました。

そして、地水火風のエレメントを通して、音がとどまるのか、流れていくのか、吹き抜けるのかを体験し、弾き終えた音のその後まで意識することが出来ました。

オイリュトミーの場合は、自分の体全体が声帯となって音を響かせていくので、動いてみることにより、1音々を意識的に、深く理解できる体験でした。

特に印象的だったのは、“ライアーの音を弾くときに、音がライアーから鳴り出しているのではなく、自分の体(精神)を通して響きだしている”ということです。いつも、どんなことでも自分のあり方が大事なのですね・・

どんなにテクニックを駆使して名曲を弾いても、その中に目に見えないけれども大切なエッセンスが無ければ、ただの曲になるし、シンプルな曲でも真摯に演奏される曲には感動を覚えます。

ライアーもオイリュトミーも本質は同じなので、その両方を体験できる講座は、とても素晴らしいと思いました。

お忙しい中、毎年講座にきてくださる田原先生と、講座を企画してご準備下さる芝山さんに心から感謝しています。ありがとうございました。 根本裕美

積み重ねと振り返り♪

田原さんの講座は震災で2年ぶりの受講となり、課題曲を皆さんと数か月練習しながら春が来るのと同じように当日をととても楽しみにしていました。

初回参加の時は足の指をやけどして、動けない状態での参加したのですが、講座が進むにつれて身体を動かしたくなる衝動にかられ、動かせる上半身だけでもと動かしたことを今でもはっきり覚えています。それくらい田原さんマジックは素晴らしいもので、ここ数年間つくばまでお越しいただき、少しずつ積み重ねてきたことが大切な宝物になっていることを昨年震災で講座がなくなってしみじみと感じたものです。また今回の講座がインターバルについて教えていただける とのことで、事前に並木クラスでリーダーさんたちによって説明いただいたり、はづきが以前の講座で田原さんがおっしゃったことをちゃんと書きとめられていて、そのメモを読んでくださったこと、ライアーで音を出す準備を大切にしているのと同じように講座に向けてのさりげない準備も大変有難かったです。

当日は花粉症のせいか耳が水の中にいるような聞こえ方しかできず、また一日のみの参加で田原さんから頂ける宝物をぼろぼろ落としてしまったような気分ですが、体調が悪い中でも課題曲を指導していただく過程でシーベック・シーモアが変化していくのが身体で感じられたのはとても嬉しいことでした。前半がS1とS2が沿うように相手を包みこむ部分と跳躍する部分が入れ替わっていき、♪の強弱という弾き方ではなく長短を大切に感じ取るように。後半は前半と違って S1は繊細に動く部分をS2はアルトっぽく奏でるように。音符が同じ四分音符であってもインターバルによって幅が違うことを感じ、それによって緩めたり、縮めたりと。

生きている♪を創り上げるには本当に色々な要素が必要であり、私たちが日々生きることと通じていることを改めて理解したような気がします。ハレルヤのオイリュトミーもとても勇気づけられました。まだまだ理解しきれないことがたくさんあると思いますが、また皆さんに助けられて振り返りながら、頂いた宝物を来年に向けて育てていきたいなと思っています。有難うございました。

Marit

田原さんの講座ありがとうございました。

思い切って参加して良かったです。

オイリュトミーの動きも色々わかってきて楽しかったのですが、あの動きでバランスがくずれ、ふらふらする、そんな筈では・・と思いつつ・・

帰宅後、疲労感で何もできず、しばらくごろんとしていましたが、気持ちはとても爽やかでした。
素敵な時をありがとうございました。

Yoko

田原さん WS、お疲れ様でした♪

今年で6回目となりました、田原さんの講座は、3月30日、31日のちょうど年度末の日程となりました。昨年は震災の為、残念ながら中止となってしまいましたが、2年ぶりに、パワーをいただくことができ本当に嬉しかったです。今年は寒い日がいつまでも続き、ようやく梅が咲き始めたばかりで、身も心も固くなっていましたが、ここで、田原さんのエネルギーが注がれることによって、再び目覚め、明るい光が見えてきました。

ちょうど復活祭を迎えるこの時期に受講できるということは、私たちの季節の巡りの中で、とても重要なポイントとなり、自然な流れの一部となってきているようです。身体の細胞も復活するかのよう
に活性化し、エネルギーが満ちてくるような気がします。

今回はオイリュトミーの「ハレルヤ」の動きの中で、HやLの音を体験し、「きらきら星」によるジグザグの動き、直線的な動き、長調と短調のアルペジオの動きも、弾く側と動く側に分かれてその流れを体感できました。また音階についても丁寧に詳しくご指導いただくことができました。

インターバルについても、土、水、空気、炎、光、アロマなど素材がインターバルによって変化していくのを動きながら何度も体験し、インターバルの質の違いが、より明確になったようです。

初めて参加された皆さんは、少し戸惑われたかもしれませんが、続けていくことで、少しずつ様々な要素が身体に浸透してくるのを感じられるようになることと思います。

今回の講座には、東京、千葉、栃木からライアー響会のお仲間の皆さんがご参加くださって楽しい時間となり、コロイの楽器も加わってより幅広くまた深く充実した響きが生まれたのではと思います。

講座開催にあたっては、ホテルの手配を裕美さんが、2日間のつくば駅までの送迎を momo が担当してくださり、楽器もお借りして大変お世話になりました。
Kao さんには、モップがけまで、ありがとうございました。会場のセッティングをはじめ、何かと講座を支えてくださいました皆さんに感謝します。

この講座で学んだ多くのことを大切に、繰り返しクラスの中でも振り返りながら、4月からの新年度、またどうぞよろしく願いいたします。

芝山恭子